

# 種崎キャンプ場・デイキャンプ (あるぷテントのお披露目)



## ・種崎の浜より太平洋を望む

2023年 1月28日(土)

天候： 晴れ

参加者： 1名

場所： 種崎キャンプ場

行動： 自宅10:00 → 10:20種崎キャンプ場 → テント張り14:40 → 15:00自宅

足を痛めて山に登れないので近場の「種崎キャンプ場」へデイキャンプに行ってきました。それに合わせて以前から気になっていた、あるぷ事務所に眠っていたテントたちを連れて行って風を通してきました。

「種崎の浜」は子供のころよく海水浴に来たものですが、その後はご無沙汰です。キャンプ場も昔からあり何回かは来たこともありますが、その頃は利用客も少なく寂しい感じでした。ところが今回来てみてびっくり、朝からたくさんの人でにぎわっています。デイキャンプ風の人たち、今晚泊まりそうな人たち、それぞれ焚き火などをしながら楽しんでいます。さすがにアウトドアブームの昨今と感心したところです。



・あるぷのテント達

あるぷの事務所から引き出して連れてきたのですが、どれも初めて張るテント、意外と手古摺ってしまいました。年代物で（一つは新しいですが）ホールが曲がっていたり、ポールゴムのゴムは朽ちていたり切れていたり、ちょっと組み合わせを間違えたりサイズが合わなかったり悪戦苦闘です。結局四つ張り終えるのに2時間ほどかかってしまいました、一日遊ぶには丁度でした。

それではそれぞれのテントを少し紹介します。まずはアライのテント、昔「山のテントと言えばアライのテント」と言っていた時代もありました。使ったことはありませんでしたが何か懐かしい感じです。見た感じもそこそこでまだ使えそうです。4人ぐらいは寝むれそうです。



・アライのテント

アライの後はダンロップのテントも流行りました。私も一つ持っていますが使いやすいです。今回フライシートはかぶせただけできちっとしていませんが、きちっと張ればまだまだ使えそうです。今の時代なら二人で使うのに丁度か？



・ダンロップテント1



・ダンロップテント2

このテントが一番古そうで生地も厚そうです。後ろにフード出口が付いていて雪の中でも使うのでしょうか？フライシートには「〇〇大学理学部」などを書いてあったりしてどこから来たのでしょうか？



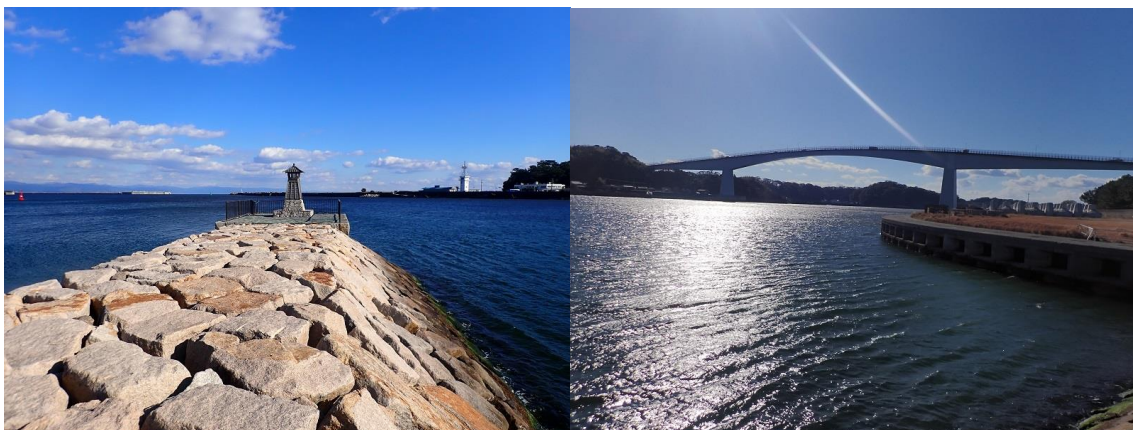
・モンベルムーンライトⅦ

最後は今流行りのモンベルテント、それもムーンライトです。最近モンベルのテントもいろんな種類が出てきていますが、やはりムーンライトが一番でしょうか？昔からの定番です。私も一つ持っていますが非常に使いやすく重宝しています。と思ってこのテントを組み立てだしたのですが、さすがに一人で張るにはちょっと大きすぎました。テントを立てた後フライシートを掛けるのに一苦勞、このサイズになると一人で張るのは無理があるようです。



・テントを張り上げほっといっぷく

やっと四つのテントを張り上げほっといっぷく、その間にもキャンプ客が増えそこから焚火も始まっています。まわりのテントを見ると今風のテントがたくさん見られます。テントの中から煙突が出ていて中に暖炉でも付いているようです。ターフ風のテントでデイキャンプなどには丁度の物なども見られます。時代の流れですね。



・種崎浜の風景

テントを片付けた後、種崎の浜を散策してみました。夏にはよく来ていましたが冬の種崎浜も良い感じです。大平山が浜越しに見え、遠くの山の雪景色も見えています。



・種崎の浜の向こうに大平山



・遠くの山には白い雪

今回あるふのテントを張ってみた感じでは、ちょっと古くなっていますが使えなくはなさそうです。モンベルのテントは快適そうです。

このテント達を使って、あるふ例会でキャンプなどを計画してはどうでしょうか？  
山に登らなくてもキャンプだけでも楽しいものです。（デイキャンプだけの方もいいですよ） お楽しみに。

これからも楽しい山行を計画しましょう。

国吉